

～夢・未来・希望輝く「舞鶴っ子」育成プラン～ 令和元年度 子ども・子育て支援等各事業実績について

育てたい子ども像 : 自分自身を愛し、他の人を愛し生まれ育った地域を愛する「舞鶴っ子」

基本的な政策目標 : 子どもの笑顔と子育てとの喜びがあふれるまちづくり

基本的な政策方向 : 1. 子どもの豊かな成長 2. 親子で育つ喜びの子育て 3. 家庭と地域が一体となって進める子育て支援

【重点施策1】 子どもの豊かな育ちを支える環境づくり

【施策の方向性】 (1) 豊かなあそび(五感を使った体験)をととした学びの推進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課	
1	保育所・幼稚園・認定こども園における「豊かなあそび」の推進	乳幼児教育充実・強化推進事業費	一人ひとりの子どもの豊かな感性、表現力、創造力の芽生えを培う教育・保育を実施するため、五感を使った「豊かなあそび」を主体的に体験できる様々な環境(自然、人、物、事など)づくりに努めます。	6,053	<全体会、ビジョンの周知> ・講演会の開催2回 ・事業報告会の開催1回 ・地域、保護者向け講座2回 ・研修ニュースレターの発行11回 <乳幼児教育の質の向上研修> ○子どもを主体とした保育研修 ・公開保育3回 ・グループワーク研修4回 ・研究指定園2園(各研修2回、4回) ○保幼小連携研修 ・グループワーク、講義1回 ・公開保育2回 ・公開授業2回 ○乳幼児教育コーディネーター、発達支援教育コーディネーターの講師派遣5回 ○乳幼児教育コーディネーターによる園内研修4回	乳幼児教育センターを中心に「乳幼児教育ビジョン」の市民等への周知と乳幼児教育の質の向上研修の継続と充実を図ります。また、乳幼児教育ビジョンの実現と質の高い乳幼児教育には、保育者の人材確保と育成は欠かせないと考えています。人材確保については、就労や保育の悩み等の相談ができる保育士等相談窓口を開設し、対応します。人材育成については、各園内で行う研修の充実に取り組み、育成を図ります。また、関係機関と連携して人材確保・育成の検討を進めていきます。保幼小連携については、今後も、学校や教育委員会との連携が重要であることから、さらに連携を進めていきます。また、0歳から15歳までを切れ目なくつなぐ「保幼小中接続カリキュラム～まいづるカリキュラム015」の活用も進めていきます。 ※京都府教育委員会「公立小学校と幼児教育施設との協働による幼小接続推進事業」の研究指定を受け、保幼小連携の充実を図ります。	幼稚園・保育所課	
		保育委託事業費		756,160	7園及び広域入所分 ↳10/1入所児童数 710人	保育ニーズが依然としてある中で令和元年度までは待機児童ゼロを堅持しておりましたが、令和2年4月1日において、14名の待機児童が発生しました。主な要因は、これまでから懸案となっている保育士不足の中で、必要な保育士の確保ができず、現体制の維持ができなかったことによるのです。引き続き、保育士確保および離職防止の取り組みを進めながら、需要に応じた提供体制の構築に努めていきます。		
		施設型給付費(2・3号)		426,828	6園(内1園分園)及び広域入所分 ↳10/1入所児童数 497人			
		施設型給付費(1号)		53,598	6園(内1園分園)及び広域入所分 ↳10/1入所児童数 58人			
		保育所管理運営経費		137,676	市立2園 10/1入所児童数 267人			
		認定こども園管理運営経費		44,719	市立1園 10/1入所児童数 78人 (1号:33人、2・3号45人)			
		給食費補足給付事業費(保育所・認定こども園)	幼児教育・保育の無償化により、これまで保育料に含まれていた副食費が実費徴収となったことによる保護者負担の軽減を図ります。	1,404	10/1対象者数:52人			令和元年10月からは「幼児教育・保育の無償化」を基軸とした保護者の負担軽減策を推進することにより、就学前児童の就園機会の確保並びに乳幼児教育の推進の普及に一層努めてまいります。
		施設等利用費(認定こども園預かり保育)	認定こども園の預かり保育(1号認定)の利用料を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。	99	10/1対象者数: 5人			

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
2	地域子育て支援拠点・子育て交流施設等における「豊かなあそび」の推進	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児との望ましいかかわり方の普及・啓発に努めます。	1,944	週6日型 利用者数:6,049人 親子が安心して集い、交流できる場を提供、子育ての相談、情報提供、助言、講習等を行う。地域子育て支援拠点の統括	地域子育て支援拠点の利用促進と質の向上 コロナ感染症対策を講じての運営方法 分かり易い情報提供	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費		18,598	・よちよち広場(昭光保育園):週3~4日型4,185千円、利用者数:2,970人 ・さるなあと(ルンビニ保育園):週3~4日型4,185千円、利用者数:3,719人 ・ほっと(八島商店街):週3~4日型5,514千円、利用者数:4,749人 ・ひまわり(西市民プラザ):週3~4日型4,714千円(施設借上料引く)、利用者数:5,835人 親子が安心して集い、交流できる場を提供、子育ての相談、情報提供、助言、講習等を行う。	地域子育て支援拠点の利用促進と質の向上 コロナ感染症対策を講じての運営方法 分かり易い情報提供	
		子育て交流施設管理運営経費		6,290	週6日型 利用者数:62,250人 豊かなあそびや安心できる場の提供、多世代交流事業、あそびの普及・啓発、定期企画事業、子育て支援情報の提供、子育て相談、情報誌の発行、市民参画事業	子育て交流施設の利用促進と質の向上 コロナ感染症対策を講じての運営方法 分かり易い情報提供	
		子育て交流広場管理経費		109			
3	誰にも優しい、ゆとりとうるおいのある公園整備	都市公園整備事業費	市民の憩いの場、レクリエーションや自然とのふれあいの場である都市公園において、安心・安全で利用しやすい公園であるよう、老朽化した公園施設の改築及び更新を行います。	36,040	・前島みなと公園照明施設更新(新設13基、撤去21基) ・青葉山ろく公園他遊具更新(新設5基、撤去15基) ・舞鶴自然文化園園路舗装更新(舗装工789㎡)	国の交付金の配分等財源の確保が課題である。	土木課

[施策の方向性] (2) 幼児期の子どもを主体とした教育・乳幼児期の保育の充実

NO.	事業名(計画)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	保育所・幼稚園・認定こども園における教育、保育の充実	乳幼児教育充実・強化推進事業費	0歳児～5歳児の発達を見通した教育・保育を実施し、一人ひとりの子どもの発達や学びを捉えた、質の高い教育・保育の提供を行います。	6,053	【重点施策1】 施策の方向性(1) 1に掲載済	【重点施策1】 施策の方向性(1) 1に掲載済	幼稚園・保育所課
		保育委託事業費		756,160			
		施設型給付費(2・3号)		426,828			
		施設型給付費(1号)		53,598			
		保育所管理運営経費		137,676			
		認定こども園管理運営経費		44,719			
2	乳幼児教育の推進	乳幼児教育ビジョン推進事業	保育所(園)では、民間と公立が連携し、保育の質の向上を目的とした研修事業を実施し、公開保育、研修会において、専門家による指導助言を受けています。さらに、幼稚園にも拡充し、幼稚園教諭・保育士のスキルアップを図ります。	6,053	【重点施策1】 施策の方向性(1) 1に掲載済	【重点施策1】 施策の方向性(1) 1に掲載済	幼稚園・保育所課
3	保幼小連携の推進		就学前児童の発達や学びを小学校での学習や生活につなげる、連続性を踏まえた保幼小連携事業を推進します。また、職員相互の連携の充実や研修事業を実施し、0歳～12歳の切れ目ない接続を目指した連携に努めます。				
4	保育の質の向上に係る保育士確保支援	保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金	保育の質の向上を図るとともに、保育の利用者の増加に適切に対応するための加配保育士の配置を支援します。	7,228	加配保育士配置補助金対象施設数 9施設	待機児童の解消や保育の質向上に向けては、保育人材の確保が必要であるため、引き続き支援を図ります。	幼稚園・保育所課
		保育士の処遇改善事業費補助金	保育士不足の要因のひとつである低賃金に対する支援を行うことにより、民間保育園・こども園の処遇改善を促進し、人材確保や離職の逡減を図ります。(H29年度より)	19,648	処遇改善事業補助金対象施設 12施設	喫緊の課題である保育士不足を解消するため、引き続き支援を図ります。令和2年度からは、月額8千円から1万2千円に増額するとともに、補助対象を短時間勤務の保育士にも拡大し、保育士確保および離職防止を図ります。	
		保育士の就業促進補助金	保育士不足の課題に対応するため、本市内の民間保育園・こども園への就業促進を図るため、居住費の一部を助成することにより、保育士の確保を図ります。(平成30年度より)	1,088	就業促進補助金利用者数 3人	待機児童の解消や保育の質向上に向けては、保育人材の確保が必要であるため、引き続き支援を図ります。	
5	特別支援教育・障害児保育の充実	私立幼稚園すくすく育成補助金 保育所発達支援事業費補助金	支援が必要と考えられる子どもの生活や遊びの状況を把握し、適切な保育環境の整備や支援を行うなど、子どもに応じた保育を提供し、健全な発達を支援します。	46,632	私立幼稚園すくすく育成補助金対象箇所数 6箇所 保育所発達支援事業費補助金対象箇所数 7箇所	引き続き支援の必要な園児の成長・発達を支援するとともに、安全を確保しながら集団生活が送れるように発達支援員の配置に要する費用について支援します。ただし、対象児童が増加傾向にある中で、必要な保育士確保が課題となっています。	幼稚園・保育所課
6	私立幼稚園保育料の軽減	私立幼稚園就園奨励費補助金	幼稚園での教育を希望する保護者の保育料の負担軽減を図ります。	68,165	対象者数:1,017人	令和元年10月からは「幼児教育・保育の無償化」を基軸とした保護者の負担軽減策を推進することにより、就学前児童の就園機会の確保並びに幼児教育の推進の普及に一層努めてまいります。	幼稚園・保育所課
		施設等利用費(保育料)	幼稚園を利用する子どもの保育料を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。	159,477	10/1対象者数:1,211人		
		施設等利用費(預かり保育)	幼稚園の預かり保育の利用料を無償化し、保護者の負担軽減を図ります。	8,114	10/1対象者数: 358人		
		給食費補足給付事業(幼稚園)	幼稚園を利用する子どもの副食費について、低所得世帯等における経済的負担の軽減を図ります。	2,197	10/1対象者数: 179人		
7	私立幼稚園教育の振興支援	私立幼稚園教育振興費補助金(内、私立幼稚園教育振興費補助金)	私立幼稚園における教育の充実を図るため、質の向上を図る取り組みを支援します。	416	研修を2回開催	引き続き、私立幼稚園の環境整備の促進に努めるとともに、幼児教育の充実に向けた取り組みに対して支援を図ります。	幼稚園・保育所課
		私立幼稚園教育機器整備費補助金(私立幼稚園特色ある幼児教育推進事業費補助金)		1,394	4園		
		教育研究助成費補助金		84	特別支援に係る各研修		

[施策の方向性] (3) 生きる力の育成に向けた教育環境等の整備

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	学力の充実と向上	夢チャレンジサポート事業費	子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来、社会に貢献できる人材を育成するために、夢講演会の開催や学力向上に向けた取り組みを行います。	7,870	中学校で各学年統一の学力診断テストを実施した。 英語検定にチャレンジする生徒に検定料を支援(受験者数:301人、合格者数:178人)した。 将来の夢を考えるきっかけとするため、外部講師による夢講演会を実施(7校実施、8公演)した。 各中学校における学力向上や教職員の資質向上等の取組、各学校の特色ある教育活動を支援した。	引き続き、夢に向かって切磋琢磨できる教育環境を提供し、児童生徒の学習意欲や学力の向上を図ります。	学校教育課
2	豊かな心の育成	特色ある教育活動支援事業費補助金 (小学校・中学校)	地域人材等を活用した特色ある教育活動を支援するとともに、地域と学校の連携・協力による職場体験や世代間交流、農業体験、伝統的文化活動など、多様な教育活動を推進し、豊かな心の育成を図ります。	6,659	総合的な学習の時間、体験活動、野外活動、クラブ活動、部活動等において地域人材等を活用した特色ある教育活動を支援するため、講師への謝礼等に対して助成した。 引揚記念館等での「ふるさと学習」や、地域での職場体験活動等における活動費を補助した。	ふるさと学習に協力いただける幅広い地域人材を発掘することが課題となっていますが、「豊かな人間性」を育てる「心の教育」の充実を図るため、引き続き、特色ある教育活動を支援していきます。	学校教育課
3	健やかな身体の育成		健康的な生活習慣や食習慣の確立による健やかな心身の育成を図ります。				
4	小中一貫教育の推進	小中一貫教育推進事業	学力の向上と学校生活への適応に向け、小学校と中学校の円滑な接続と義務教育9年間を見通した教育を目指し、小中一貫教育を進めます。	6,910	全7中学校区で2名の指導主事による指導・助言や小小・小中連携交流事業に伴う移動手段の手配、小学校高学年で一部教科担任制の実施や中学校教員による小学校への乗入れ授業を実施した。	小中一貫教育の教育的効果が目に見える形で現れるよう、成果や課題を把握・整理し、取組みの改善・充実を図ります。 小中一貫教育の取組が形骸化することのないよう、児童生徒・学校・地域の実情等を踏まえながら、教育委員会としてサポート体制の充実等を図り取組を推進していきます。	学校教育課
5	いじめ防止基本方針に基づくいじめ対策の推進	いじめ・不登校対策経費	舞鶴市いじめ防止基本方針に基づき、いじめを絶対に許さない決意のもと、社会全体で子どもを守るとともに、各学校においては、いじめの防止、早期発見、早期対応のため、組織的な取り組みを行います。 また、いじめ相談室が学校の支援・指導を行います。	15,666	6月・12月に「いじめアンケート調査」の実施による実態把握及び必要な指導や支援を実施した。 いじめの早期発見・早期対応のため、いじめのサイン発見シート・いじめ相談ダイヤルカードを配布した。 いじめ相談件数は、電話相談229件、来所相談64件、メール相談1件、学校訪問11件。 いじめ相談室に2名の相談員を配置。	人間関係づくりに時間を要し、また個々の状況に応じた対応が必要なため、教員や経験豊かな相談員が児童生徒と信頼関係を築く中で、不登校の解消といじめ相談の充実を図ります。	学校教育課
6	学校における不登校対策の推進		不登校の未然防止に向け、学校での心の居場所や、絆づくりに努めるとともに、各学校に不登校対策担当の教員を明確に位置付け、不登校の児童・生徒にきめ細かく柔軟な対応を組織的に取り組みます。		担任等による家庭訪問の実施やその対策等、各学校において組織的な対応を実施した。		
7	教育センター「明日葉」の運営		教育支援センター「明日葉」を中心に不登校解消のための取り組みを進めるとともに、カウンセラー(臨床心理士)を配置し、困難事例に対応します。		子ども相談員2名、臨床心理士1名による相談業務を実施。学校訪問、家庭訪問を通じ、学校での不登校対策をサポート。 チャレンジアウトドアライフ事業として野外体験活動を実施した。		
8	学校保健の充実	児童・生徒健康管理経費 (小学校・中学校)	児童生徒の健康診断、環境衛生、応急処置などの健康管理と保健指導や保健学習などの健康教育活動を通して健康に生活していく能力の育成に努めます。	46,078	小・中学校における身体・歯科検診、検尿・ぎょう虫検査などを実施した。 小学校でのフッ素洗口を実施した。 小学校新入学児童に対する健康診断を実施した。	引き続き、児童生徒の健康管理や健康教育活動を通して、健康に生活していく能力の育成に努めます。	学校教育課

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
9	より豊かな学校給食の充実	学校給食運営経費 (小学校・中学校)	児童・生徒の健全育成のため、食育を推進するとともに、安心安全で魅力のある学校給食を進めます。	418,217	小・中学校で給食を実施した。 (小学校児童数4,217人、中学校生徒数2,144人 (R1.5.1現在)) 毎月「食育だより」の発行 給食食材として、地元産のお米をはじめ、魚、わかめ、野菜などを取り入れ、地産地消に努めた。	年々増加するアレルギー児童・生徒の除去食等の確実な対応と中学校での食育指導の充実を図り、引き続き、安心・安全で地産地消を積極的に取り入れた魅力のある学校給食の提供に努めます。	学校教育課
10	信頼される学校づくり	—	オープンスクールや学校評価制度を充実するとともに、中学校区ごとに共通した目標をかかげ、その実現に努める。	—	10・11月中の1週間程度をオープンスクールウィークとして各学校が設定し、各小・中学校において保護者や地域の方々が学校へ来ていただけるよう授業参観や行事等を実施し地域とともにある学校づくりを推進することができた。	引き続き、学校の教育活動や運営状況を家庭・地域に積極的に情報発信を行い、地域とともにある学校づくりを推進します。	学校教育課
11	学校と家庭・地域の連携強化	学校運営協議会運営費	地域社会全体で子どもと学校を支える仕組みづくりとして、コミュニティ・スクール等の取り組みを推進します。	282	29年度から31年度までの3年間で全小・中学校にコミュニティ・スクールを設置し、地域・保護者が一体となった特色ある学校づくりを推進することができた。	コミュニティ・スクールや学校支援地域本部の運営を継続・発展させるため、活動に対する支援を継続して行います。	学校教育課
12	学校施設の整備	施設整備事業費(小学校費・中学校費)	経年により生じている施設の劣化・損傷部分を改修する工事や現在施設の機能を強化・改善する工事を行い、教育上の適切な環境整備を図ります。	231,240	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎屋上防水改修工事(倉梯第二小・与保呂小) ・給食室空調設備改修工事(大浦小・福井小) ・体育館排煙窓改修工事(中舞鶴小) ・特別支援学級増設にかかる改修工事(志楽小) ・通学用通路橋設置工事(中筋小) ・防球ネット新設工事(城北中) ・安全点検・点検に伴う器具の更新等 高圧受変電設備改修(倉梯第二小・与保呂小) ・避難器具更新(城北中) ・コンクリートブロック塀等に係る安全対策 中筋小プールブロック・福井小プールブロック 三笠小・青葉中・和田中 ・校舎外壁改修工事(明倫小) ・その他各校改修工事及び修繕(250件) 	今後経年劣化していく学校施設が増加するため、これからも市全体の取組である市有建築物の点検マニュアルに沿って施設点検を行い、不具合箇所を早期発見することで、最小限のコストで健全な状態の維持に努めます	教育総務課
		校舎等改修事業費(小学校費・中学校費)	老朽化した施設の大規模な改修や補強、機能向上等を実施し、安全で快適な教育環境を提供します。	—	大規模な改修を実施する際は、国の動向に合わせ、事業計画の見直しや財源の確保を検討しながら遂行しています。今後は、インフラ長寿命化基本計画に基づき、令和2年度中に個別施設毎の長寿命化計画を策定し、建築コストの平準化を図ります。		

【重点施策2】 家庭における子育て力を高める取り組みの推進

【施策の方向性】 (1)子育てに関する学びの充実

NO.	事業名(計画)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	親同士が交流する場を提供するとともに、子育てについて気軽に相談したり学べるよう、子育て講座の開催や子育て支援者研修会を開催します。	1,944	ひよこひろば 5回 68組 あかちゃんひろば 11回 167組 まなびのひろば 2回 38人 さくらぼひろば(双子)10回 44組 子育て講演会 1回 157人(支援者含む)	内容の質の向上 コロナ感染症対策を講じての開催方法 分かり易い情報提供	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	子育てについて学べるよう、子育て講座の開催やわかりやすい子育て関連情報を提供します。	18,598	親子で体験 各種講座(だっこやおんぶの講座など) 母の心と体の健康づくり 多世代交流 地域資源との連携	内容の質の向上 コロナ感染症対策を講じての開催方法 分かり易い情報提供	
		子育て交流施設管理運営経費	子育て中の親子が気軽に集い、あそびをとおして交流する場を提供するとともに、家庭での「豊かなあそび」のプログラムや子育て関連情報を提供します。	6,290	乳児あそびの体験 193人 パパと赤ちゃんあそびの体験 24人 小学生あそびの体験 40人 家族あそびの体験 152人	内容の質の向上 コロナ感染症対策を講じての開催方法 分かり易い情報提供	
2	子育て講習会開催事業	子育て支援基幹センター運営経費	保護者を対象に、子どもとの良好な関係づくりや子育てのストレス軽減につながるよう、子どもの発達を促すためのスキル等を学べる講習会を開催します。	1,944	子育て講演会 1回 157人(支援員含む)	内容の質の向上 コロナ感染症対策を講じての開催方法 分かり易い情報提供	子ども支援課
3	子育て支援関係者研修事業	子育て支援基幹センター運営経費	子育て支援関係者に現代の子育てに対する理解を深め、より良い支援者になるための資質向上と人材育成を行います。	1,944	子育て支援者研修 1回 157人(一般含む)	内容の質の向上 コロナ感染症対策を講じての開催方法 分かり易い情報提供	子ども支援課
4	高校生と乳幼児親子とのふれあい交流事業	子育て支援基幹センター運営経費	これから親になる高校生が、乳幼児や子育て中の親との触れあいを通じて、子どもに対する愛着や生命の尊さを感じ、将来結婚し、子どもを産み育てたいと思える機会を創出するとともに、子育て支援の現状等について学ぶ機会づくりを行います。	1,944	・東舞鶴高校1年生 学生 158人 親子 38組(74人) ・舞鶴工業高等専門学校5年生 学生 94人 親子 27組(41人) ・日星高校1年生 学生 143人 親子33組(69人) ・中丹東保健所・子育てひろばと協働	コロナ感染症対策を講じての開催方法 中学校でのふれあい交流	子ども支援課
5	「家庭の日」の啓発	舞鶴子ども育成支援協会補助金	子どもの健やかな成長にとって家庭の果たす役割は重要であることから、毎月第4日曜日を「家庭の日」として提唱し、家庭を振り返り、家族の絆を深める普及活動を行います。	—	京都府青少年育成協会が実施する「明るい家庭づくり(家庭の日)絵画展」の入賞作品の展示を行う。 ・令和1年5月14日～5月20日 中総合会館 ・令和2年1月25日 中総合会館 ・令和2年1月27日～1月31日 市役所	子どもたちの健やかな成長にとって家庭の果たす役割の大切さを再認識するため、より効果的な啓発活動を推進する必要がある。	子ども支援課

[施策の方向性] (2)子育てに関する情報提供・相談体制の充実

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子ども総合相談センター(子どもなんでも相談窓口)	子ども総合相談センター運営経費	7人の相談員を配置し、0歳から18歳までの子どもに関する様々な相談に対応しています。また、児童虐待や要保護ケースに対応するための地域ネットワーク組織である舞鶴市要保護児童対策地域協議会の調整機関の役割も担っています。	18,111	○「子育て世代包括支援センター」の機能を持つ子育て支援基幹センター・保健センターと一体となり、妊娠期から18歳までの切れ目のない支援を実施する「子どもなんでも相談窓口」を開設しています。 ○相談受付件数 725件 ○内、虐待に関する相談 401件	子どもに関する相談に対して適切な対応と支援が迅速に行えるよう、相談員の専門性向上に努めるとともに、関係機関との情報共有と連携の更なる強化に努めます。 また「子どもなんでも相談窓口」の市民への周知に努め、誰もが利用しやすい窓口を目指します。	子ども支援課
2	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	子育てについての相談やより個別ニーズに合わせた地域の子育て支援情報の提供を行うとともに、子育て支援関係団体が、さらに連携強化できるよう交流の機会づくりに努めます。	1,944	相談件数 572件	相談しやすい環境づくり 傾聴・共感・エンパワメントを引き出すスキル	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	子育てについての相談や子育て関連情報の提供等を行います。	18,598	よちよち広場:166件 さるなあと:206件 ほっと:321件 ひまわり:631件	相談しやすい環境づくり 傾聴・共感・エンパワメントを引き出すスキル	
		子育て交流施設管理運営経費		6,290	相談件数:215件	利用者も多く、広いスペースでなかなかゆっくり話す事が難しい環境ではあるが、気軽に声をかけることを中心にした見守り	
3	子育て応援情報サイト「そよかぜネット・まいたん」	子育て支援基幹センター運営経費	各種子育て支援サービスや制度のお知らせ、子育て中の親子を対象としたイベント情報、子育て応援団体の紹介など、子育て支援に関するあらゆる情報を整理しタイムリーに発信します。	—	アクセス数:88,062 ユーザー数:19,931 新規ユーザー数:18,429	わかりやすく、よりタイムリーな情報提供	子ども支援課

[施策の方向性] (3)子育て世帯の交流の場の充実

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児とその保護者の総合的な支援を図るため、親同士が気軽に交流できる場や子育てサークルの育成等に努めます。	1,944	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	乳幼児とその保護者が、地域の多様な世代と交流ができるよう、地域団体と連携して、地域での子育て支援活動に積極的に取り組みます。	18,598	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載		
		子育て交流施設管理運営経費	子育て中の親子同士をはじめ、多世代のいろんな人が気軽に集い、遊びをとおして交流できる施設として、利用しやすい施設運営に努めます。	6,290	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	

【重点施策3】安心して産み育てられる環境づくりの推進

【施策の方向性】(1)妊娠期・出産前後の支援の充実

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	不妊・不育治療給付	不妊・不育治療給付費	不妊・不育治療を受ける夫婦が負担する医療費の助成を行うことにより、子を希望する夫婦への支援を図ります。	2,853	①保険適用される不妊治療の自己負担額の1/2を現金給付により助成(助成限度額6万円) ②人工授精にかかる医療費の自己負担額の1/2を現金給付により助成(助成限度額10万円) ①②両方の場合助成限度額10万円 ③保険適用される不育治療の自己負担額の1/2を助成(1回の妊娠につき10万円) ④保険適用外の不育治療の自己負担額の1/2を助成(助成限度額20万円) 実績: 148 件	子を希望する夫婦への支援を図るため、今後も継続して助成を行います。	保険医療課
2	妊婦健康診査	妊婦健康診査事業費	妊婦の健康管理と健診費用負担の軽減のため、妊婦健康診査受診票を交付します。	46,062	基本検査(問診・診察、体重測定、血圧測定、尿検査、保健指導) 6,145回 追加検査(血液検査、超音波検査、免疫検査、HIV抗体検査、子宮頸がん検査等)7,104回	妊婦の健康管理の向上を図るため継続し健診を実施します。さらに健診結果を踏まえた保健指導のあり方を検討します。	健康づくり課
3	妊婦相談	妊娠出産包括支援事業費	母子健康手帳の交付時や電話、訪問等により随時相談に応じます。	1,355	○母子健康手帳交付時の相談件数:624件 ○助産師相談:月1回の来所相談と随時の電話相談<件数>来所 延48件 電話 延283件	妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援を充実させるため、来所や電話、訪問による相談を継続します。	健康づくり課
4	産婦健診	妊娠出産包括支援事業費	産婦の健康管理及び支援の必要性を早期に把握するため、産婦健康診査受診票を交付し、健診費用の負担軽減を図ります。	4,349	対象産婦:530人 受診実人数:500人(受診率94.3%) 受診延人数:872人	産婦の健康管理の向上を図るため継続して健診を実施します。さらに健診結果で、産後うつ等の予防や支援が必要と判断した場合には、速やかに対応できる体制を整えていきます。	健康づくり課
5	産後ケア	妊娠出産包括支援事業費	産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親が前向きに子育てできる力を育み、家族とともに健やかな育児ができるように支援します。	726	<利用者数> ○実人数:21人 ○延人数:宿泊型19人、日帰り型37人 <内容> 助産師等が母親の心身のケア及び保健指導、乳房ケア、育児の手技に関する指導や相談を実施	産後の母の身体的回復と心理的な安定、母子の愛着形成の促進のため、平成30年度から「産後ケア事業」として日帰り型も加えて実施。令和3年度からは母子保健法の改正を踏まえて、対象者や事業の実施方法等拡大していきます。	健康づくり課
6	妊産婦歯科健康診査	妊産婦歯科健康診査事業費	歯周病にかかりやすい妊産婦の口腔の健康を保持増進し、早産や低体重児出産、むし菌の母子感染等の予防を目的に歯科健康診査を1回実施します。	775	市内の歯科医療機関で実施。 <受診者>214人(受診率35.8%)	受診率アップ(40%目標)とともに、定期歯科健診率の増加や、効果的なブラッシング習慣の定着を働きかけます。	健康づくり課
7	育児準備教室	妊娠出産包括支援事業費	初産婦と夫に対して妊娠中から育児に対する意識を高め父親の育児への協力体制をつくることを目的に沐浴実習や妊婦体験等を実施します。	241	○もうすぐパパママ教室(月1回日曜日)R1は11回 <内容>沐浴実習、妊婦体験、栄養・制度の話 <参加人数>276名(夫婦参加133組) ○妊婦教室(年5回) <内容>栄養・歯科指導、妊婦同士や先輩ママとの交流 <参加人数>15名	妊娠・出産・育児における父親の協力体制や、妊婦の不安軽減と仲間づくりを支援するため、育児準備教室を継続して実施します。また、参加率は6割程度であり、仕事等で参加しにくい人に向けた動画配信など、啓発方法についても検討していきます。	健康づくり課
8	妊産婦・新生児・未熟児訪問指導	妊産婦・新生児訪問指導事業費	助産師等が訪問を行い、妊婦・産婦・新生児・未熟児への育児に関する助言や保健指導を実施し、必要に応じて関係機関と連携し継続的な支援を実施します。	2,804	助産師等が訪問指導を実施。 <訪問実人数> 妊婦 5件、産婦 551件、未熟児 47件 新生児 41件、乳児 463件	今後も、全出生児に電話して相談に応じ新生児訪問等につなげるとともに、心身のケアや精神面の援助等を必要とする妊産婦への訪問を継続します。また新型コロナウイルス等感染防止を配慮した訪問に取り組みます。	健康づくり課
		未熟児養育医療費	身体の発育が未熟のまま出生した乳児に対し、正常児が出生時に有する諸機能を得るために必要な入院療育の給付を行い、乳児の発育・発達と保護者が安心して育児ができるための支援を図ります。	4,863	1歳未満の未熟児の入院費用及び食事代を現物給付により助成 助成件数:54件	子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの健康の保持・増進を図るため、今後も継続して助成を行います。	保険医療課
9	こんにちは赤ちゃん訪問	こんにちは赤ちゃん事業費	生後4か月までの乳児のいる家庭を全て訪問し、子育ての不安や悩みを聞き、必要な情報提供や養育環境等の把握を行い、今後も支援が必要な家庭に対しては、関係機関との連携をとり適切な支援につなげます。	919	訪問件数:547件 訪問率:約94.8%	産後の育児不安や子育ての孤立化を防ぎ、誰もが、地域に見守られている安心感が持てるようなよりよい訪問	子ども支援課
10	利用者支援事業	利用者支援事業費	子どもや保護者の身近な場所に、教育・保育施設や地域の子ども・子育て支援事業についての情報提供や必要に応じ相談・助言等を行うとともに関係機関との連絡調整を行い、子育て家庭が適切な施設や多様な事業を円滑に利用できるよう支援します。	—	保健センターと子育て支援基幹センターで「子育て包括支援センター」機能を担い、妊娠届け時から顔の見える関係づくりに努める	スムーズな連携を行い、妊娠期から子育て期の切れ目のない支援体制を構築	子ども支援課

[施策の方向性] (2)母子の心身の健康の保持・増進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	乳幼児健康診査	乳幼児健康診査事業費	3か月・10か月・1歳6か月・3歳児健診を実施し、子どもの心身の発育や育児状況、歯科疾患の有無、親の健康状況、予防接種の接種状況などを把握し、安心できる子育てを支援します。	7,026	<受診者数・受診率> 3か月児 :551名(97.0%) 10か月児 :543名(97.3%) 1歳6か月児 :564名(96.6%) 3歳児 :616名(96.4%)	引き続き健診未受診者の全数把握に努めるとともに、健診の効果的なあり方を検討し、健診後のフォロー体制の充実に取組みます。また新型コロナウイルス等感染防止を踏まえた健診の実施に取り組みます。	健康づくり課
2	予防接種	予防接種事業費	B型肝炎・ヒブ・小児用肺炎球菌・四種混合・BCG・麻しん・風しん・水痘・日本脳炎等の予防接種を実施するとともに勧奨を促進します。	199,774	<接種者数> 延14,674名 乳幼児:ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、四種混合、BCG、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎 学童:二種混合・日本脳炎・子宮頸がん	今後も予防接種の動向に注意しながら、定期接種の接種率の向上と、安全で効果的な接種が行えるよう医療機関との連携や保護者への啓発に努めます。	健康づくり課
3	歯っぴースマイル教室	子どものむし歯予防事業費	むし歯予防を目的として2歳と2歳6か月児に対し、歯科健診・フッ素塗布やブラッシング指導を実施します。	1,276	<2歳児> 受診者数267名 フッ素塗布264名 <2歳6か月児> 受診者数228名 フッ素塗布225名	フッ素の効果をしっかり理解してもらい、自ら予防に努めることができるよう支援し、習慣化や継続ができるよう関心を高めます。また新型コロナウイルス等感染防止を踏まえた教室の実施に取り組みます。	健康づくり課
4	幼児むし歯予防教室		正しいブラッシングや予防習慣を身につけるため、市内の幼稚園や保育園等においてブラッシング指導や希望園においてフッ化物洗口を実施します。		<保育所・幼稚園> ブラッシング指導12園 618名 フッ化物洗口 11園 512名		
5	離乳食・幼児食教室	母子健康相談指導事業費	発達段階に応じた離乳食が順調に進むよう、また、栄養・食の大切さを学ぶことを目的に実施します。	19	○離乳食教室 年11回 269名(保護者140名、乳児129名) ○幼児食教室(幼児ばくばくミニ講座) 年6回(幼稚園6か所) 保護者177名	今後も実演・体験を通し、離乳食期の各段階を不安なく進めるよう支援に努めます。また、幼児食教室を通して、食生活習慣が改善し、家族全体の健康づくりにつながるよう啓発に努めます。また新型コロナウイルス等感染防止を踏まえた教室の実施に取り組みます。	健康づくり課
6	健やか育児相談・電話相談		就学までの乳幼児を対象に、保健師・栄養士・歯科衛生士による育児相談を実施します。		○健やか育児相談:月1回来所にて実施 <相談件数>延287件 月平均23.9件 ○育児電話相談 <相談件数>100件		
7	乳幼児の訪問指導	-	健診の未受診や、経過観察が必要な乳幼児を対象に訪問による保健指導を実施します。必要により医療機関や保育所等の関係機関とともに継続的な支援を実施します。	-	<訪問指導件数> 乳児 101件(延145件) 幼児 271件(延398件)	今後も支援が必要な児とその保護者に対して適切な時期に保健師等が訪問し、関係機関と連携をとりながら継続して支援します。	健康づくり課
8	妊産婦歯科健康診査	妊産婦歯科健康診査事業費	早産や低体重児出産、むし歯菌の母子感染等予防を目的に妊娠中から出産後1年間までの期間に1回実施します。	775	市内の歯科医療機関で実施。 <受診者>214名(受診率35.8%)	受診率アップ(40%目標)とともに、定期歯科健診率の増加や、効果的なブラッシング習慣の定着を働きかけます。	健康づくり課

[施策の方向性] (3)健康に育つための取り組みの推進

NO.	事業名(計画)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子育て支援医療費助成	子育て支援医療助成費	中学生までの子どもの医療費助成を行うことにより、子育て世代の経済的負担軽減し、子どもの健康の保持・増進を図ります。	207,375	中学生までの入院・小学生までの外来:1医療機関1月200円の自己負担額に現物給付または現金給付により助成、中学生の外来:月1,500円を超えた額を現金給付により助成。(平成27年9月診療分～R元.8月診療分までは月3,000円を超えた額を助成) 助成件数: 112,224 件	子育て世代の経済的負担を軽減し、子どもの健康の保持・増進を図るため、今後も継続して助成を行います。	保険医療課
2	子どもの救急電話相談の普及啓発	舞鶴地域医療推進協議会事業費補助金:地域医療情報発信・啓発	通常の診療時間内での受診の啓発を図るとともに、夜間・休日に子どもの急な体調不良への対処方法や医療機関への受診の判断などに役立てていただくための電話相談(#8000)の普及啓発に努めるなど、小児科医師などの負担を軽減するための啓発に努めます。	354	舞鶴医療センター小児科医師監修のもと、子どもの急病対処法冊子の内容更新・改訂を行い、夜間・休日の子どもの急な体調不良への対処方法や、医療機関への受診の判断などに役立てていただくための電話相談(#8000)の普及啓発を行いました。	引き続き広報紙等も活用し、通常の診療時間内での受診の啓発を図るとともに、電話相談の普及啓発に努めます。	地域医療課
3	お医者さんマップの作成	舞鶴地域医療推進協議会事業費補助金:地域医療情報発信・啓発	必要な時にまずは身近な医療機関に受診できるように、医療機関の診療科目や診療時間、場所などの情報をマップで紹介し、あわせて、電話相談(#8000)や「かかりつけ医」を持つことの大切さ、コンビニ受診を控えることなどについての啓発に努めます。	198	お医者さんマップの内容更新・改訂を行い、医療機関や市内公共施設等に配布し、「かかりつけ医」を持つことの大切さやコンビニ受診を控えることなどについて市民啓発を行いました。	医療機関の診療科目や診療時間などを紹介し、「かかりつけ医」を持つことの大切さやコンビニ受診を控えることなどについて市民啓発に努めます。	地域医療課
4	「かかりつけ医」を持つことの普及・啓発	舞鶴地域医療推進協議会事業費補助金:地域医療情報発信・啓発	日ごろの健康管理や急な体調不良の際の診療など、安心して生活するために「かかりつけ医」を持つことの大切さなどについて普及啓発を進めます。	94	ホームページや広報紙へ掲載し、「かかりつけ医」を持つことの大切さなどについて啓発を行いました。	引き続き「かかりつけ医」を持つことの大切さなどについて、広報紙なども活用し市民啓発に努めます。	地域医療課

【重点施策4】 配慮が必要な子どもと家庭への支援の充実

【施策の方向性】 (1)成長や発達に支援が必要な子どもの施策の推進

NO.	事業名(計画)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	「にじいろ」個別支援システム	発達障害児支援事業費	年齢に応じた成長と発達の視点から支援が必要な乳幼児の早期発見、早期支援のため、専門スタッフで構成する個別支援検討会議委員が保育所・幼稚園・認定こども園を巡回し、発達支援やクラス運営に関して助言を行います。また、発達支援員配置についての意見を行います。		・申請、助言人数:250人 ・巡回回数:64日 ・個別支援検討会議:10日 ・二次巡回:8日(作業療法士) ・移行支援のための学校巡回:5回	申請人数の増加に伴い、巡回期間が長くなっており、巡回メンバーや日程の確保が難しくなっています。また、小学校へ切れ目なくつなげるためのツールやシステムの構築も課題となっており、今後も関係機関と連携し、検討していきます。	幼稚園・保育所課
2	発達支援ファイルの普及啓発	発達障害児支援事業費	関係機関や保護者などが子どもの成長に関する情報を記録した発達支援ファイルを保護者に渡すことにより、子どもの成長や発達の記録を途切れることなく管理できるように支援します。		配布数:36冊 配布対象者:さくらんぼ園・小学校・こども療育センター(医師)が必要と判断された方、他希望者	発達支援ファイルの管理、活用については、保護者にゆだねられるところが大きく、個々の状況によって差があります。今後も配布や記入について関係機関へ周知していくとともに活用方法についても周知・啓発をしていきます。	幼稚園・保育所課
3	発達支援研修	発達障害児支援事業費	<発達支援リーダー研修> 発達支援、発達障害等の基礎から支援技術まで総合的に学び、保育園(所)、幼稚園、認定こども園等において基礎的な知識や技術を修得した人材を育成します。 京都府保育協会・舞鶴市の共催。	2,545	<発達支援リーダー研修> ・参加申込人数48人(内市内21人) ・市内保育園:私立8人 公立2人 ・市内認定こども園:私立4人 公立1人 ・市内幼稚園:私立6人 ※全3回受講した参加者に修了証を発行し、参加費の1/2を補助 ・修了証発行47人(市内内訳:私立保育園8人、公立保育所2人、私立認定こども園3人、公立認定こども園1人、私立幼稚園6人) ・参加費の2分の1補助対象園15園(公立以外) ※京都府保育協会と共催	園の支援スキルを維持・向上させていくためには、にじいろ個別支援システムの園巡回だけでなく、人材を育成していくための研修は必要であることから、継続していきます。	幼稚園・保育所課
	集団生活育みルーム「にこにこルーム」コミュニケーション力育みルーム「なかよしルーム」	発達障害児支援事業費	<集団生活育みルーム「にこにこルーム」> 社会性の基盤をはぐむ重要な時期である、乳幼児期(1歳半から3歳まで)の子どもにとって、親以外の大人や、同年齢の子どもと過ごす経験(集団経験)が必要であり、『にこにこルーム』において集団の場を提供し、支援の必要と思われる親子をサポートすることを目的とします。主に、保健センターのフォロー教室「のびすく教室」に参加、または、終了した未就園の子どもと保護者を対象としています。 <コミュニケーション力育みルーム「なかよしルーム」> 集団参加しにくい、人とうまく関われないなどのコミュニケーションや社会性に課題のある保育所、幼稚園、認定こども園に通う支援の必要な子どもとその保護者を対象に、小集団においてコミュニケーション力や社会性を育む機会を提供し、就学に向けてつなぐことを目的としています。保護者には、懇談等を通じて子どもとの関わり方等を学ぶ機会を提供します。		<にこにこルーム> ・実施回数:40回 ・参加人数:延べ約640人 平均約8組 ・1歳児:9人 2歳児:14人 3歳児:1人 ※就園先へ参加の様子等を引き継ぐ <なかよしルーム> ・実施回数:5歳児グループ4回 4歳児グループ7回 ・参加:5歳グループ8人(2園) 4歳グループ10人(4園) ・子ども:体を動かす遊び、ルールのある遊び等 ・保護者:懇談3回(SSTの説明、ペアトレ等)、個別面談4組(希望者のみ) ※就園先に参加の様子や支援方法等を引き継ぐ。5歳児については就学先にも引き継ぐ(6校)。	にこにこルームでは就園前の早期から支援の必要な親子をサポートし、なかよしルームでは、就園後の社会性・コミュニケーション等に課題のある子どもとその親をサポートし、園や学校へ引き継いでいます。今後も、内容等も検討しながら、継続していきます。	
4	舞鶴子ども発達支援施設さくらんぼ園の運営の支援	障害児通園事業費補助金	社会福祉協議会に補助金を交付し、舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園が担う障害児通所支援事業を支援します。	20,635	職員:13人 延べ利用者:979人/年 月当たり利用者81人 延べ利用回数:2,884回/年 月当たり利用回数:240回	舞鶴市社会福祉協議会、舞鶴こども発達支援施設さくらんぼ園と連携し、引き続き障害児通所支援事業に取り組めます。	子ども支援課
5	のびすく教室	発達障害児支援事業費	言葉の発達や行動面に課題のある子どもが、小集団の中で様々な遊びの楽しさを経験するとともに、保護者が、親子で遊ぶ機会を通じてかかわり方や遊ばせ方を学べる教室を開催し、就園につなげる取組みの充実に努めます。		年21回開催 ○のびのびグループ 実26組(延62組) ○すくすくグループ 実31組(延67組)	健診後のフォローや早期支援の場として定着していますが、就園年齢が年々早くなっており、教室終了後は就園する児が多いため、今後も関係機関と連携をし、必要な支援の継続に努めます。	健康づくり課
6	発達相談	発達障害児支援事業費	1歳半や3歳児健診の受診者のうち精神面で精密検査や経過観察を要する子どもの発達検査とそのかかり方についての育児相談を実施します。	518	○おひさま相談:臨床心理士等による発達検査および助言指導 <相談件数>年12回 実34件(延34件)	今後も精神発達面でフォローが必要な幼児および保護者に対して、適切な助言指導を行います。	健康づくり課
7	子どものほめ方教室	発達障害児支援事業費	子どものかかわりや育てにくさを感じている保護者に、子どもをほめて育てる基盤づくりに努めます。		○ほめ方講演会 <参加者>27名 ○smileルーム <参加者>実9名(延31名) <内容>4回シリーズでロールプレイ等を実施	今後も講演会や教室を通し、保護者にほめて育てるかかわり方を学んでもらうことで子育ての心配や不安が軽減できる親支援の事業として継続していきます。また、より多くの人に聴いてもらうことができるあり方を検討していきます。	健康づくり課

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
8	重度心身障害児への医療費助成	重度心身障害児(者)医療助成費	重度心身障害児の健康の保持及び福祉の向上を図ることを目的に、保険診療による自己負担額を助成します。	129,420	身体障害者手帳1、2級または療育手帳A保持者(74歳未満)の医療費を現物給付または現金給付により助成(20,916件)	重度心身障害児(者)の健康の保持・増進を図るため、今後も継続して助成を行います。	保険医療課
9	自立支援医療(育成医療・精神通院)助成	障害者自立支援医療(育成医療)給付費	手術等により障害が改善される見込がある場合、指定の医療機関受診医療費の一部を助成します。	836	延べ件数:75件	自立支援医療(育成医療・精神通院)助成の適正実施に努めます。	子ども支援課
10	障害児支援利用援助・サービス利用支援	障害児相談支援給付費	相談支援専門員が、児童の成長・発達のために、利用児童や保護者と相談し、ニーズを基に目標を立て、児童通所支援、障害福祉サービス等の利用について計画・相談に応じます。	8,445	相談支援事業所:7事業所 延べ件数:480件	保護者と事業所、学校など関係機関との連携を推進し、相談支援専門員の役割の周知に努めます。	子ども支援課
11	児童短期入所(ショートステイ)	障害(児)者短期入所給付費	保護者の疾病などにより一時的に家庭で養育することが困難な障害のある児童を短期間施設等で預かります。	6,242	5事業所 延べ件数:141件	保護者の方の負担を軽減するため、必要な利用者、家庭を事業所等と連携し、支援していきます。	子ども支援課
12	児童居宅介護(ホームヘルプ)	障害(児)者居宅介護給付費	障害のある児童を対象に、自宅で入浴、排泄、食事などの介助を行います。	1,910	児童は1事業所 延べ件数:294件 成長に伴う保護者の負担を軽減するため、入浴介助の支援をされている	保護者の方の負担を軽減するため、必要な利用者、家庭を事業所等と連携し、支援していきます。	子ども支援課
13	児童通所支援(児童発達支援・放課後等デイサービス)	障害児通所給付費	<児童発達支援> 日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を行う。未就学児対象。 <放課後等デイサービス> 授業終了後または休日に、生活能力の向上のために必要な訓練・社会との交流を行う。就学児対象。	190,526	<児童発達支援> さくらんぼ園他2法人等1,123件 <放課後等デイサービス> こども療育センター他7法人等1,324件	児童発達支援、放課後等デイサービスともに、利用ニーズが多いことから、各関係機関との連携を推進し、可能な限りニーズに応えられるよう利用調整に努めます。	子ども支援課
14	日中一時支援(日帰り短期入所)	障害(児)者日中一時支援事業費	家庭で監護を行う人がいないなどの理由から、一時的な身守りが必要な障害児を日中に施設等で預かり、活動の場の提供や見守りを行う。	42	1事業所に委託 延べ利用者数10人	各関係機関との連携を推進し、可能な限りニーズに応えられるよう利用調整に努めます。	子ども支援課
15	日中一時支援(就学児童等タイムケア事業)	障害(児)者日中一時支援事業費	放課後や長期休み中における余暇活動の場や交流体験を広げる機会などの提供や見守りなどを行う。	0		平成30年度末で事業所閉鎖。事業所と連携し、利用希望者全員が放課後等デイサービスへの移行完了。	子ども支援課
16	小・中学校特別支援学級、舞鶴支援学校等の児童・生徒の交流	心身障害児ふれあいレクリエーション事業費	舞鶴支援学校、各小・中学校支援学級、聾学校に通う児童が一堂に集まりレクリエーションを行ったり、日頃の絵画や作品を展示する作品展を実施し交流するための経費補助及び支援。	—	ふれあいレクリエーション:児童220名参加 作品展:5日間開催	障害児、教諭、保護者、関係支援団体による相互交流や、作品展、レクリエーション事業を通じた地域交流事業が展開していけるよう、連携・支援します。	子ども支援課
17	理解促進研修や啓発事業の実施	舞鶴市障害児育成会等事業費補助金	障害児者育成会が実施する相談事業、交流事業、研修事業を支援し、一人ひとりの自立に向けた運動を補助する。	24	保護者交流会、親子行事、保護者学習会	今後も育成会の活動が継続され、事業が展開していけるよう、連携・支援します。	子ども支援課
18	就労に向けた関係機関とのネットワークづくり	ひとり親家庭自立支援事業費	京都府ひとり親家庭自立支援センター、ハローワークと連携し、ひとり親家庭の自立に向けた就労を支援する。	—	京都府ひとり親家庭自立支援センター ・就労等相談を月2回定期開催 ハローワーク ・就労相談を8月に2回開催	京都府ひとり親家庭自立支援センター、ハローワーク等との連携強化を図り、就労支援、生活総合相談など自立支援に努めます。	子ども支援課
19	特別児童扶養手当・障害児福祉手当の支給	児童扶養手当給付費	中程度以上の障害の状態にある児童を鑑護している児童の母又は父などに対して、手当を支給します。	37,709	<特別児童扶養手当> 220人(支給:京都府) <障害児福祉手当> 743人、11,105千円	—	子ども支援課

【施策の方向性】(2)児童虐待防止対策と相談体制の充実

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子ども総合相談センターと関係機関との連携強化	子ども総合相談センター運営経費	児童虐待ケースや見守りが必要なケースに対応するための地域ネットワーク組織である要保護児童対策地域協議会において、関係機関との間で支援に向けた情報共有と連携を行っています。	18,111	舞鶴市要保護児童対策地域協議会置ける調整機関として各種会議を開催 ○代表者会議:年1回(20の関係団体) ○実務者会議:要保護部会12回(毎月開催)、要支援部会6回(隔月開催) ○個別ケース会議:42回(随時開催)	関係機関相互の情報共有と連携協力体制の更なる強化に努めます	子ども支援課
2	要保護児童対策地域協議会				同上	同上	子ども支援課
3	児童虐待ケースフォロー会議	子ども総合相談センター運営経費	要保護児童対策地域協議会で進行管理しているケースについて、実務担当者が支援策についての協議を随時行っています。		同上	同上	子ども支援課
4	児童虐待防止啓発	子ども総合相談センター運営経費	児童虐待を防止するためには、地域全体で子どもを見守ることの重要性を提唱し、児童虐待に対する関心を高める活動を行います。		・学校教職員、保育従事者対象の虐待対応研修を実施 ・市役所ホールで虐待防止啓発パネル等の展示 「まねてみる」コーナーを各市民団体と協働して実施	児童虐待の正しい知識と理解を深めるため、さらなる広報啓発活動に努めます。	子ども支援課
5	養育支援訪問事業	子ども総合相談センター運営経費	養育支援が特に必要な家庭に対して、その居宅を訪問し、養育に関する指導、助言等を行うことにより、当該家庭の適切な養育の実施を確保します。		市の保健師、助産師、保育士、相談員により、専門的相談支援を実施。 ○訪問実績 15家庭 計62回	保護者のニーズに対応した、保健師、保育士、相談員等による乳児家庭等への専門的養育相談支援に努めます。	子ども支援課

【施策の方向性】(3)ひとり親家庭の自立支援の推進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	ひとり親家庭の自立支援	母子家庭の自立支援	ひとり親家庭の自立に向け就労に有利な資格を取得するための費用を助成するほか、自立支援員を配置し母子家庭等の相談に応じます。	5,553	母子・父子自立支援員 1名配置 自立支援教育訓練給付金4名 高等職業訓練促進給付金6名	京都府ひとり親家庭自立支援センター等との連携により、就労支援や生活総合相談などの事業に取り組みます。	子ども支援課
2	児童扶養手当の支給	児童扶養手当	父又は母のいない家庭の児童や父又は母が重度の障害の状態にある家庭の児童の健やかな成長を図るため、児童の母又は父などに対して、手当を支給します。	440,303	全部支給 延6,259人 267,871千円 一部支給 延4,042人 121,193千円 2子加算(@5,000) 延4,148人 計39,380千円 3子加算(@3,000) 延1,145人 計6,829千円 年金併給 延98人 3,064千円	—	子ども支援課
3	ひとり親家庭医療費助成	ひとり親家庭医療助成費	ひとり親家庭の児童とその親の健康の保持及び福祉の向上を図ることを目的に、保険診療による自己負担額を助成します。	65,771	ひとり親家庭の18歳未満の児童と父母の医療費を現物給付または現金給付により助成(24,323件)	ひとり親家庭の児童とその親の健康の保持・増進を図るため、今後も継続して助成を行います。	保険医療課
4	母子家庭奨学金の交付	—	父親と生計を同じくしていないか、父親が心身に障害のある18歳未満の児童を養育している母親などに奨学金を支給します。	—	京都府事業	—	子ども支援課
5	ひとり親家庭の生活支援・相談	ひとり親家庭の生活支援事業費	舞鶴市母子福祉会、京都府ひとり親家庭福祉推進員と連携し、地域での日常生活相談などを支援します。	262	交流事業:2回 受講者数:延べ62人	舞鶴市母子福祉会は、8名が京都府ひとり親家庭福祉推進員であり、この事業も含め地域に根差した日常生活支援活動を展開されています。	子ども支援課

【重点施策5】 地域における子どもの育ちの支援と安全に安心して子育てができるまちづくりの推進

【施策の方向性】 (1)子育て支援サービスの充実

NO.	事業名(計画)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	地域子育て支援拠点事業	子育て支援基幹センター運営経費	乳幼児をもつ子育て中の親同士の交流や親子との遊びの場を提供し、子育てについての相談や子育てに関する情報の提供、助言など、利用者支援に努めます。	1,944	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載	子ども支援課
		地域子育て支援拠点運営経費	地域を中心とした子育て支援活動を担うとともに、多くの子育て家庭が利用しやすいよう拠点の周知・啓発を強化します。	18,598	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載		
		子育て交流施設管理運営経費	乳幼児をもつ子育て中の親同士の交流や親子との遊びの場を提供し、子育てについての相談や子育てに関する情報の提供に努めます。	6,290	重点施策(1)施策の方向性(1)に掲載		
2	子育て短期支援事業	子育て短期支援委託事業費(ショートステイ)	保護者が疾病、疲労その他の身体上若しくは精神上又は環境上の理由により家庭において児童を養育することが一時的に困難となった場合又は経済的な理由により緊急一時的に母子を保護することが必要な場合等に、当該児童等を児童養護施設において一時的に養育し、又は保護を行います。	1,117	〇舞鶴双葉寮 延べ 13人 146日 〇舞鶴学園 延べ 28人 106日	ひとり親家庭、夜間の仕事・疾病・出産・看護等の理由(例:父は海自勤務出港中、母は出産による入院の場合など)により児童の養育ができない保護者へのセーフティネットとして、サービスの提供に努めます。	子ども支援課
		子育て短期支援委託事業費(トワイライトステイ)	保護者が仕事その他の理由により平日の夜間又は休日に不在となり家庭において児童を養育することが困難となった場合その他緊急の必要がある場合に、当該児童を児童養護施設において保護し、生活指導、食事の提供等を行います。	420	〇舞鶴双葉寮 延べ 240人 1,676日 〇舞鶴学園 延べ 11人 11日	ひとり親家庭、夜間の仕事・疾病・出産・看護等の理由(例:父は海自勤務出港中、母は出産による入院の場合など)により児童の養育ができない保護者へのセーフティネットとして、サービスの提供に努めます。	子ども支援課
3	ファミリー・サポート・センター事業	ファミリー・サポート・センター事業費	乳幼児や小学生の子どもの預かり等の援助サービスを受けたい親「お願い会員」とし、その援助を行う者を「まかせて会員」として、相互の援助活動に関する連絡調整を行い、子どもの保育所等への送迎や終了後の預かりを実施します。	5,065	「お願い会員」と「まかせて会員」相互の援助活動に関する連絡調整を行い、習い事や幼稚園等の送迎を実施した。おねがい会員:599人、まかせて会員250人、両方会員55人 計904人(令和元年度末現在)	更なるサービス向上につながるよう検討を行います。	子ども支援課
4	一時預かり事業(幼稚園の預かり保育を含む)	一時保育事業費補助金	親が就労、病気、冠婚葬祭等で、一時的に育児が困難になった時や、育児ストレスを軽減したい時に、保育所などで乳幼児の預かりを実施します。また、私立幼稚園で実施している在園児を対象として通常の教育時間以外の日及び時間においての子どもの預かりを、公立幼稚園においても実施します。	15,269	利用園数及び利用者数(保育所・こども園) 実施園数 公立3 私立11 延べ利用者数 公立107 私立1,012(幼稚園) 実施園数 公立0 私立12 延べ利用者数 公立0 私立62,395	引き続き、提供体制の確保に努めますが、全体として保育士確保が課題となっています。	幼稚園・保育所課
5	延長保育事業	延長保育促進事業費補助金	保育所を利用する保育時間認定を受けた子どもを対象に、保護者の希望により利用時間以外の保育を実施します。	5,745	利用園数及び利用者数(保育所) 実施園数 公立3 私立9 延べ利用者数 公立1,647 私立4,607	引き続き、提供体制の確保に努めますが、全体として保育士確保が課題となっています。	幼稚園・保育所課
6	病児保育事業	病児保育支援事業費	子どもが風邪をひいたり熱を出した時、仕事や急な用事で親が家庭において養育できない場合、病院に付設された専用スペースにおいて看護師、保育士等の専門スタッフが子どもを預かります。	9,089	実施施設数及び延べ利用日数 実施施設数 1 延べ利用日数 497	引き続き、提供体制の確保に努めます。	幼稚園・保育所課
7	放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)	放課後児童健全育成事業費	就労等により保護者が日中家にいない児童の適切な遊びの場や生活の場を確保し、児童の健全な育成と保護者の子育てと仕事の両立支援を行います。	100,337	全18小学校区で計26クラブ、法人3クラブの合計29クラブが実施 利用児童数計835人(H31.5.1時点) 夏休児童クラブの実施(東西2か所)利用児童数計42人	年々、利用希望者が増加しており、受入が困難なクラブがあるため、今後の利用者見込に応じた施設と支援員確保等、様々が課題があります。	子ども支援課
		放課後児童クラブ整備費	経年劣化した放課後児童クラブ室の改修や市民ニーズに応じた新たなクラブ室の整備を行います。	0	—	—	子ども支援課
		放課後児童クラブ利用者負担軽減補助金	放課後児童健全育成事業を利用している者に対し、当該利用者の費用負担の軽減を図るため、補助金を交付しています。	2,114	—	—	子ども支援課
8	子育てサークルの育成	子育て支援基幹センター運営経費	子育て中の親が、仲間づくりを行うサークルの組織化とその活動を支援し、親同士の交流や子どもとの関わりなど、子育てを学ぶ機会を創出するとともに親自身の力を引き出す取り組みになるよう努めます。	1,944	子育てサークルの発足を目的の一つとした行事を開催 「ひよこひろば」:6回/年 活動サークル:19サークル	子育てサークルの主体的な活動を支援	子ども支援課

[施策の方向性] (2) 地域での子育て支援のネットワークの充実

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	舞鶴子ども育成支援協会の活動支援	舞鶴子ども育成支援協会補助金	子どもたちが心身ともに健やかに成長することを目指し、市民総ぐるみの子育て支援活動及び健全育成活動を推進する当該協会の運営経費について支援を実施します。	500	○参画団体 41団体 (各小学校区地域子育て支援協議会、自治連・区長連他) ○事業内容 ①少年の主張大会の開催 200名参加 ②子ども文化劇場 1,100名参加 ③「家庭の日」絵画展を実施 ④京都府青少年すこやかフォーラム 250名参加 ⑤広報紙「子育て」の発行 7000部	今日の子どもを取り巻く社会情勢を踏まえた、青少年健全育成活動及び子育て支援活動の充実を図ります。	子ども支援課
2	地域子育て支援協議会の活動支援	地域子育て支援推進事業費補助金	子どもの健全育成を図るため、各地域において実施される子育て支援事業に要する運営経費について支援を実施します。	2,104	○補助対象団体 各小学校区地域子育て協議会18団体 ○主な事業内容 児童の登下校時の見守り活動、花いっぱい運動、昔あそび、親子交流行事等		
3	各種団体やNPOの支援	-	子どもや子育て支援にかかわるNPOや各種市民団体の育成やその活動を支援します。	-	子どもや子育て支援にかかわる市民団体等が実施する行事の後援(広報や名義使用)などを実施	自主的に行事等を実施する市民団体等の後方支援等を継続して行い、地域ぐるみの子育て支援活動の活発化につなげます。	子ども支援課
4	地域における子ども・若者の健全育成支援	子ども・若者健全育成事業補助金	「善行表彰基金条例」を改正し、青少年善行表彰に加えて、子ども・若者の健全育成や支援に関わる財源を持たない民間グループ等の活動や市民意識の啓発普及等に係る活動経費の一部を助成するなど、基金の運用拡大を図り、子ども・若者の健全育成機運や基盤づくりにつなげます。※基金名称「子ども・若者健全育成基金」補助対象経費×1/2(上限100千円)	450	○補助対象団体 8団体 ○主な事業内容 ちびっこソフトボール事業、野外でのレクリエーション活動、ホテル観賞等	子ども・若者が、自然・地域及び社会の人々との触れ合い等、直接体験ができる活動の場や機会を提供し、自主的活動に取り組む団体・ボランティアグループを支援します。募集期間の検討やグループや団体以外の構成員に広くよびかけてもらうことを周知します。	子ども支援課
5	学習支援事業	学習支援事業費	子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、次代を担う子どもたちが進学や就職など、将来に夢や希望をもって成長していけるよう、生活習慣の確立と学習習慣の定着を図る。	957	・小学校5・6年生対象 ・モデル校2校(新舞鶴小・中舞鶴小)で週2回実施 新舞鶴小52回開催 延児童519人(実人数22人) 中舞鶴小45回開催 延児童505人(実人数14人)	平成28年度からモデル校2校で実施中。次年度以降は、引き続き関係機関と協力しながら、生活習慣の確立と学習支援の定着に繋がるよう取り組みを推進します。	子ども支援課

[施策の方向性] (3) 青少年健全育成の取り組みの推進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	少年補導委員非行防止活動	少年補導センター運営費、少年補導委員活動費	子どもの好ましくない行動の早期発見と問題行動の習慣化、拡大化を未然に防止するため、少年補導委員による子どもへの声かけを中心とした街頭補導活動を実施します。	3,412	○少年補導委員95人 (民間69・学校26) ○中学校区単位に校区委員会を設け、大規模校区は5班、小規模校区は1~2班の補導班を編成して活動 ○出勤回数 延520回 ○出勤人員 延1,869人 ○声かけ状況 帰宅指導や交通違反等	小・中・高等学校、各PTA、地域、関係機関と更なる連携を図り、青少年の非行の未然防止に努めます。	子ども支援課
2	青少年善行表彰	青少年善行表彰経費	子どもが心身ともに健やかに成長することを願い、社会生活・教育・文化等の面で顕著な善行があったと認められる個人、団体を表彰します。	56	表彰件数 個人1、団体3人 内容:不登校に対する啓発・支援、環境活動、地域の情報発信、地域活性化活動	善行表彰基金を活用し、広く青少年の善行の励行を推し進めるとともに、表彰制度の今後のあり方についても検討してまいります。	子ども支援課
3	有害環境浄化対策	少年補導センター運営費、少年補導委員活動費	社会環境浄化推進員や少年補導委員により、書店、レンタルビデオ店、携帯電話取扱店等への立入調査の実施、コンビニや個人タバコ店等に対して未成年喫煙防止の啓発を行う等、有害環境から子どもを守るための取組みを行います。	3,412	少年補導委員が自主的に組織する少年補導委員連絡協議会の活動で、有害図書関係事業所に販売等の禁止チラシの配布と声かけを実施	京都府等関係機関と連携し、継続実施していきます。	子ども支援課

[施策の方向性] (4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	子どもの見守り隊への支援	子育て支援一般事務経費	通学路における犯罪や事故を未然に防止するため、地域、学校、警察、保護者等が協力して取り組む子ども見守り隊の活動を支援します。	—	重点施策(5)施策の方向性(2)に掲載	重点施策(5)施策の方向性(2)に掲載	子ども支援課
2	まいづるメール配信サービスによる不審者情報の発信	—	不審者情報や子どもの安全に関する情報を保護者や地域の皆さんにメールで配信します。	広報広聴課予算	不審者情報の発信 7件 ・声かけ 3件 ・接触 2件 ・危険行為 1件 ・後追い 1件	—	学校教育課
3	青色回転灯搭載公用車の巡回活動・地域子育て支援協議会への設置促進	—	地域における防犯体制を強化するため、視覚的効果の高い青色回転灯を装備した公用車による防犯パトロールを実施します。	—	・防犯パトロール 8回実施 ・舞鶴警察署主催の講習会参加	犯罪抑止等のため、防犯パトロールを継続して実施すると共に、犯罪情勢等を勘案し必要に応じてパトロールを追加実施する。	市民課
		地域子育て支援推進事業費補助金	地域における防犯体制を強化するため、地域子育て支援協議会が行う自主的な防犯パトロールを促進するため、車載型青色回転灯の整備を支援します。	0	実績なし	地域の防犯体制の強化に繋がる事業であることから今後も継続して補助していきます。	子ども支援課

[施策の方向性] (5)ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	ワーク・ライフ・バランスの普及・啓発	事業所啓発事業	市民や事業所に対して、セミナーの実施やリーフレットの作成・配布等により、ワーク・ライフ・バランスについての啓発を行います。	89	社会や制度が変わっていく中、引き続き啓発を図るため、事業所向けにセミナーを開催。 【事業所支援セミナー】 「働き方改革と言われても…現場で活かせるマネジメント方法」 10月15日(火) 参加者:34名	あまり関心のない事業所にいかに情報を届けるか、今直面している問題は何かを考えながら、ニーズに合った啓発を図っていく。	人権啓発推進室啓発推進課
2		舞鶴市就業支援センター運営経費	ジョブ・サポートまいづる(舞鶴市就業支援センター)を拠点に、ハローワーク舞鶴や北京都ジョブパークをはじめとする関係機関と連携して、子育て中の求職者を対象とした相談業務を実施します。	8,645	子育て中の親・ひとり親の就職支援事業として「マザーズジョブカフェ巡回相談」をジョブ・サポートまいづるにおいて実施 ・開催回数:11回 ・参加延べ人数:30人	「マザーズジョブカフェ巡回相談」のほか、子育て中の母親に対する雇用情報提供機会を増やすため、舞鶴市子育て交流施設等、対象者が集まる場所における「ジョブ・サポートまいづる」の周知活動の強化に取り組む。	産業創造・雇用促進課
3	性別にとらわれない子育て等に関する意識の普及・啓発	①女性チャレンジ推進事業費…廃止 ⇒男女共同参画セミナー事業費 ②男女共同参画計画啓発事業費 ③情報誌発行事業費…廃止	男女共同参画社会の実現に向け、セミナーの実施や情報誌の作成・配布等により、男女共同参画の意識づくりについての啓発を行います。	①247 ②450	一般向けに男女共同参画の意識づくりのため、広く啓発を行った。 ①【男女共同参画セミナー】 「職場でのコミュニケーション向上術～承認～」 7月31日(水) 参加者:40名 「子育て講演会」 11月29日(金)、30日(土) 講演会参加者:140名 ②【男女共同参画講演会】 「キッチンから始まる家族の絆」 7月13日(土) 参加者:200名	関心のない人にいかに情報を届けるか、今関心のある問題は何かを考えながら、ニーズに合った啓発を図っていく。	人権啓発推進室啓発推進課

[施策の方向性] (6) 安心して外出できる環境の整備

NO.	事業名(計画上)	予算事業名	事業概要	R元決算額 (単位:千円)	R元事業実績	課題・今後の方向性	担当課
1	人にやさしい道づくりの推進	交通安全推進事業費	子供、高齢者などの交通弱者や自転車が安全で安心して通行できる道路の安全施設の整備を進め、快適で安心・安全なまちづくりを推進します。	12,135	○区画線、カーブミラー、ガードレール、ガードパイプ、転落防止柵、交通安全灯の設置 ・市内全域	国の交付金の配分等財源の確保が課題	土木課
2	公共的施設のユニバーサルデザインに配慮した整備の推進	庁舎改修事業 (窓口カウンター改修工事)	市民が利用しやすく、市民にわかりやすい市役所づくりに向けて、環境整備を行い、市民の利便性の向上を図ります。	—	—	市民サービスの向上を図るため、効率的な動線を確保し、訪れる市民が利用しやすい窓口等の再配置及び市民にわかりやすい本庁舎の環境整備を行う。	資産マネジメント推進課
3	公共交通機関のユニバーサルデザインに配慮した整備の促進	—	路線バスにおけるノンステップバスや低床化バスの導入など、ユニバーサルデザインに配慮した環境整備を促進します。	—	京都交通(株)において、新たにノンステップ1台を購入した。 東西循環線など、利用者が多い路線を中心にノンステップ、低床化バスを導入し、ユニバーサルデザインに配慮した路線バス運行を行った。	ノンステップバスや低床バスの導入促進やバス待ち環境の整備など、交通事業者と連携し、誰もが利用しやすい公共交通の環境整備に取り組みます。	企画政策課
4	交通安全運動の推進	—	教育機関等と連携した自主的、効果的な交通安全教育及び交通事故防止のための活動を促進します。また、各機会や媒体を利用した交通安全に関する広報活動の推進、全国及び府域一斉に取り組む交通安全運動を実施します。	—	・全国交通安全運動(春・秋) ・交通事故防止府民運動(夏・年末) ・府域一斉街頭啓発(年3回) ・子どもの交通事故防止推進日(年2回) ・小学校等への啓発・教育資材の配付 ・ゾーン30に係る街頭啓発 など	警察、関係機関、交通安全ボランティアと連携した取組を引き続き推進します。	市民課
5	子育て応援情報・子育てマップの提供	子育て支援基幹センター運営経費	遊び場、幼稚園・保育所(園)、病院、公園等のマップや様々な子ども・子育て支援サービス情報をまとめた「子育て応援ブック」を作成し、関係機関に配布するとともにホームページ等のメディアを活用してわかりやすい情報提供に努めます。	1,944	・子育て応援ブックの発行 ・子育て応援ネットまいたんの発信	内容の充実	子ども支援課